

成績評価に関する客観的な指標の算出方法

○学年ごとに、個人別・科目別に成績評価を得点（100点満点）化し、個人成績とする。

○成績評価

- ・筆記・口頭試問・レポート提出・実技試問等により試験を行い、各科目の担当講師が評価する。
- ・優（80点以上100点満点）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）を基準とし、可以上を合格とする。
- ・各科目の出席時間数が3分の2以上である学生を試験の対象とする。
- ・合格に満たなかった学生には、1科目につき1回の限り再試験を受けることができる。この場合、評点は60点を最高点とする。

○やむを得ない理由（交通機関の事情、忌引、学校保健安全法による出席停止等）により試験を受けられなかった学生は、追試験を受けることができる。

○各学年の順位や成績の分布は、上記で得た全科目の点数の平均値により行う。